

付録：関連研究会

第53回日本小児股関節研究会

テーマ「次世代のために」

会長 二見 徹(滋賀県立小児保健医療センター整形外科)

会期 平成26年6月20日(金)・21日(土)

会場 ピアザ淡海(滋賀県立県民交流センター)

教育研修講演 I (ランチオンセミナー)

座長：柴田 徹
麻痺性股関節脱臼と痙縮コントロール ―神経系に働きかける手法を用いた治療戦略―

医療法人社団湖光会 いしやま内科整形外科

○共田義秀

教育研修講演 II 特別講演 座長：二見 徹
現在の股関節外科 ～徒然なる雑話～

岐阜大学大学院医学系研究科整形外科

○秋山治彦

Debate 座長：田村太資
不安定型迂り症：整復すべきか

大阪市立総合医療センター¹

兵庫県立こども病院²

○北野利夫¹・小林大介²

特別セッション 一次世代へのメッセージ―

座長：品田良之
小児整形外科医として働き甲斐のある毎日を送る為には、何に依拠し、どのような目標を掲げてゆけば良いのだろうか

水野記念病院

○鈴木茂夫

60歳(還暦)を超えた今伝えたいこと

千葉こどもとおとなの整形外科

○亀ヶ谷真琴

ルシファーの誘惑(補正手術手術適応について)

佐賀整肢学園こども発達医療センター

○藤井敏男

症例検討 1 座長：金 郁喆, 薩摩眞一

C-1 軽微な外傷により小児大腿骨頸部骨折を来した1例

大阪医科大学整形外科教室

○藤原憲太・大保拓也・飯田 剛

藤城高志・中島幹雄・根尾昌志

C-2 腸骨・坐骨重複を有する先天性股関節脱臼の1例

大阪府立母子保健総合医療センターリハビリテーション科¹

同 整形外科²

○田村太資¹・川端秀彦²・杉田 淳²
名倉温雄²

C-3 エーラスダロス症候群に発症したDDHの1例
川崎医科大学骨・関節整形外科学

○古市市郎郎・黒田崇之・三谷 茂

C-4 2歳9か月で初回治療された3歳6か月DDHの再治療症例

滋賀県立小児保健医療センター整形外科

○尾木祐子・二見 徹・吹上謙一

太田英吾・原田有樹・丸木 仁

下園美紗子

C-5 単純性股関節炎の経過観察中にMRIにて骨端内に異常像を認めた1例

松戸市立病院整形外科

○品田良之・飯田 哲・河本泰成

鈴木千穂・佐野 栄・宮下智大

佐藤進一・加藤 啓・宮本卓弥

C-6 滑膜性骨軟骨腫症疑いの1例

山形大学整形外科¹

真室川町立病院整形外科²

○佐々木幹¹・高窪祐弥¹・平山朋幸¹

高木理彰¹・浦山安広²

症例検討 2 座長：北 純, 下村哲文

C-7 特発性股関節軟骨融解症と考えられる1例

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科生体機能再生・再建学講座(整形外科)¹

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科医療材料開発講座²
旭川荘療育センター療育園³

○藤井洋佑¹・遠藤裕介²・香川洋平¹

皆川 寛³・赤澤啓史³・尾崎敏文¹

C-8 治療に難渋するヘモジゲリン沈着性股関節炎の1例

山梨大学整形外科

○若生政憲・谷口直史・波呂浩孝

C-9, 10, 11 大腿骨過大前捻が下肢に与える影響：
症例1~3

長崎県立こども医療福祉センター

○松林昌平・岡野邦彦・二宮義和

山口和正

【症例1】Triple innominate osteotomy 後にあぐらごとれなくなった大腿骨過大前捻の1例

【症例2】膝蓋骨脱臼を伴った大腿骨過大前捻の1例

【症例3】不安定膝関節を伴った大腿骨過大前捻の1例

C-12 大腿骨頸部骨折後の外傷性骨頭壊死の1例

滋賀県立小児保健医療センター

○下園美紗子・共田義秀・丸木 仁

原田有樹・太田英吾・尾木祐子

吹上謙一・二見 徹

一般演題 1

座長：藤原憲太

1-1 骨頭壊死を生じなかった小児大腿骨頸部骨折
Delbet-Colonna 分類 I 型の 1 例

浜松医科大学整形外科

○古橋弘基・星野裕信・松山幸弘

1-2 思春期に発症した広範囲な大腿骨頭壊死症に対して、寛骨臼回転骨切術を行った 4 例

順天堂大学医学部附属練馬病院整形外科

○坂本優子・野沢雅彦・前田公一
金 勝乾・鎌田孝一

1-3 大腿骨屈曲骨切り術後の脚長不等に PSPD を施行した 1 例

千葉県こども病院整形外科

○廣澤直也・西須 孝・柿崎 潤
田中玲子・瀬川裕子

1-4 骨形成不全症患者に合併する大腿骨頸部骨折

心身障害児総合医療療育センター整形外科

○田邊 文・伊藤順一・山本和華
武井聖良・田中弘志・瀬下 崇
君塚 葵

一般演題 2

座長：鬼頭浩史

2-1 大腿骨頭に発生した片肢性骨端異形成症の一例

東京医科歯科大学医学部附属病院整形外科¹東京医科歯科大学医学部附属病院臨床研修センター²○野呂瀬美生^{1,2}・瀬川裕子¹・神野哲也¹
古賀大介¹・高田亮平¹・平尾昌之¹
宮武和正¹・宗田 大¹・大川 淳¹

2-2 大腿骨頭に発生した軟骨芽細胞腫に対し骨髄鏡視下病巣搔爬術を行った 2 例

千葉県こども病院整形外科¹千葉こどもとおとなの整形外科²○田中玲子¹・西須 孝¹・柿崎 潤¹
瀬川裕子¹・廣澤直也¹・森田光明²
亀ヶ谷真琴²

2-3 ペルテス病保存療法後に大腿骨内反回転骨切り術を行った一例

京都府立医大大学院運動器機能再生外科学(整形外科)

○中瀬雅司・岡 佳伸・浅田麻樹
鎌田陽一郎・金 郁喆・久保俊一

2-4 定量的 X 線学的評価を用いたペルテス病の治療成績評価

京都府立医大大学院運動器機能再生外科学(整形外科)¹綾部市立病院整形外科²みどりが丘病院整形外科³公立南丹病院整形外科⁴舞鶴赤十字病院整形外科⁵京都第一赤十字病院整形外科⁶京都第二赤十字病院整形外科⁷○岡 佳伸¹・金 郁喆¹・吉田隆司¹中瀬雅司¹・細川元男²・山田尚武³琴浦義浩⁴・西田敦士⁵・横関弘一⁶日下部虎夫⁷・久保俊一¹

一般演題 3

座長：星野裕信

3-1 慢性腎不全治療中に大腿骨頭すべり症を来した 1 例

あいち小児保健医療総合センター整形外科

○岩田浩志・服部 義・金子浩史

3-2 大腿骨頭すべり症 一肥満患者と標準体型患者の比較—

兵庫県立こども病院整形外科

○衣笠真紀・薩摩真一・小林大介

3-3 当科における不安定型大腿骨頭にり症の治療成績
名古屋大学整形外科

○松下雅樹・鬼頭浩史・三島健一

門野 泉・杉浦 洋・長谷川幸

北村暁子・石黒直樹

3-4 大腿骨頭すべり症治療後に FAI を呈した症例の検討

東京慈恵会医科大学附属第三病院整形外科¹東京慈恵会医科大学整形外科²○川口泰彦¹・大谷卓也¹・藤井英紀²上野 豊²・加藤 努²・羽山哲生²村上宏史²・阿部敏臣²・中島由晴²丸毛啓史²

3-5 思春期の一輪車競技選手に生じた femoroacetabular impingement および大腿骨頭壊死の 3 例

静岡県立こども病院整形外科

○田中紗代・滝川一晴・矢吹さゆみ

志賀美絵

3-6 大腿骨 head-neck junction の 3 次元的形態評価
—正常股と DDH の比較—

九州大学整形外科

○畑野 崇・中島康晴・秋山美緒

河野裕介・山本卓明・本村悟朗

大石正信・濱井 敏・福土純一

岩本幸英

パネルディスカッション 1 FAI 病態・診断・治療

座長：大谷卓也，中島康晴

P1-1 Femoroacetabular impingement (FAI) の定義
と診断基準：現状と問題点北里大学医学部整形外科¹北里大学医療衛生学部²○福島健介¹・高平尚伸²・内山勝文¹岩瀬 大¹・森谷光俊¹・山本豪明¹高相晶士¹

P1-2 anterior impingement test 陽性患者の画像—
正常股関節との比較—

埼玉県立小児医療センター整形外科¹

日本大学整形外科²

○平良勝章¹・根本菜穂¹・及川 昇¹
山口太平²・長尾聡哉²

P1-3 コンピューター・シミュレーションによる
FAI の診断・治療への応用

浜松医科大学整形外科

○星野裕信・小山博史・古橋弘基・松山幸弘

P1-4 小児疾患における FAI の治療

千葉県こども病院整形外科¹

東京医科歯科大学整形外科²

千葉こどもとおとなの整形外科³

○柿崎 潤¹・西須 孝¹・瀬川裕子²
廣澤直也¹・田中玲子¹・森田光明³
亀ヶ谷真琴³

P1-5 FAI に対する股関節鏡視下手術

大阪医科大学整形外科

○大原英嗣・中島幹雄・根尾昌志

P1-6 FAI に対する治療上の問題点

東京慈恵会医科大学整形外科講座

○藤井英紀・大谷卓也・川口泰彦
上野 豊・加藤 努・羽山哲生
村上宏史・丸毛啓史

一般演題 4

座長：瀬川裕子

4-1 生体股関節における Combined Anteversion と
その臨床的意義

九州大学大学院医学研究院整形外科

○河野裕介・中島康晴・秋山美緒
山本卓明・大石正信・本村悟朗
濱井 敏・平田正伸・原 大介
金沢正幸・岩本幸英

4-2 成長終了後の DDH における家族歴および幼少
時治療歴の頻度と股関節形態への影響

九州大学整形外科

○李 容承・中島康晴・河野裕介
秋山美緒・山本卓明・本村悟朗
大石正信・濱井 敏・福士純一
岩本幸英

4-3 高度遺残性亜脱臼状態で成人期に痛みが出現し
た例の後ろ向き調査

長崎県立こども医療福祉センター整形外科¹

長崎医療センター整形外科²

えのもと整形外科³

高橋整形外科クリニック⁴

長崎大学 整形外科⁵

○岡野邦彦¹・山口和正¹・二宮義和¹
松林昌平¹・本川 哲²・榎本 寛³

高橋克郎⁴・尾崎 誠⁵・進藤裕幸⁵

4-4 DDH 診断遅延例の検討

岡山大学病院整形外科¹

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科運動器医療材料開
発講座²

○香川洋平¹・遠藤裕介²・岡田芳樹¹
尾崎敏文¹

4-5 4 か月健診は DDH スクリーニングに適切な時
期なのか？

北海道大学大学院医学研究科整形外科¹

俱知安厚生病院整形外科²

札幌社会保険総合病院整形外科³

えにわ病院整形外科⁴

○高橋大介¹・入江 徹¹・浅野 毅¹
田辺明彦²・安藤 亮³・紺野拓也⁴
新井隆太¹・岩崎倫政¹

パネルディスカッション 2 DDH 1：よりよい健診
制度の構築 座長：朝貝芳美，岡野邦彦

P2-1 千葉市乳児股関節健診の現状と問題点

千葉こどもとおとなの整形外科¹

千葉県こども病院整形外科²

○森田光明¹・亀ヶ谷真琴¹・塚越祐太¹
西須 孝²・瀬川裕子²・柿崎 潤²

P2-2 滋賀県の先天性股関節脱臼症例と健診との関連

滋賀県立小児保健医療センター整形外科

○尾木祐子・二見 徹・吹上謙一

太田英吾・原田有樹・丸木 仁

下園美紗子

P2-3 愛媛県における小児科医に対する乳児股関節
健診に関するアンケート調査の結果報告

愛媛県立子ども療育センター整形外科

○佐野敬介

P2-4 新宮城式脱臼リスクファクターを使った乳児
股関節脱臼の予防，健診について

岩手県立療育センター整形外科¹

南昌病院整形外科²

○北川由佳¹・本田 恵²

P2-5 乳児股関節健診の再構築

長野県立こども病院整形外科

○松原光宏・藤岡文夫・岩川絃子

P2-6 全例超音波検査とリスク因子を組み合わせた
股関節検診の試み

西部島根医療福祉センター

○星野弘太郎・中寺尚志

P2-7 フランスでの DDH 健診制度と診断遅延の状況

沖縄県立南部医療センター・こども医療センター整形

外科

○金城 健・粟国敦男・我謝猛次
上原敏則P2-8 よりよい DDH 検診システムについての検討
—アメリカでの DDH 検診システムとの比較
も含めて—大阪市立総合医療センター小児整形外科
○中川敬介・北野利夫・和田麻由子

一般演題 5 座長：和田晃房

5-1 歩行開始後に発見された DDH の臼蓋形態につ
いて水野記念病院
○山崎夏江・鈴木茂夫・中村千恵子

5-2 Salter 骨盤骨切り後の股関節屈曲可動域の変化

大阪市立総合医療センター小児整形外科
○和田麻由子・中川敬介・江口佳孝・北野利夫

5-3 Salter Z 一究極の Salter 変法—

千葉県こども病院整形外科¹
東京医科歯科大学整形外科²
千葉こどもとおとなの整形外科³
○西須 孝¹・柿崎 潤¹・瀬川裕子^{1,2}
廣澤直也¹・田中玲子¹・森田光明³
亀ヶ谷真琴³5-4 Charcot-Marie-Tooth 病に伴う両側高度寛骨臼
形成不全の 1 例東京医科歯科大学医学部附属病院整形外科
○鈴木 聡・神野哲也・瀬川裕子
古賀大介・平尾昌之・高田亮平
宮武和正・宗田 大・大川 淳5-5 Charcot-Marie-Tooth 病に伴う寛骨臼形成不全
に対しトリプル骨盤骨切り術を施行した 2 例千葉県こども病院整形外科¹
東京医科歯科大学医学部附属病院整形外科²
千葉こどもとおとなの整形外科³
○瀬川裕子^{1,2}・西須 孝¹・柿崎 潤¹
廣澤直也¹・田中玲子¹・森田光明³
亀ヶ谷真琴³

一般演題 6 座長：遠藤裕介

6-1 極低出生体重・早産児に認められた先天性股関
節脱臼の 3 例大阪府立母子保健総合医療センターリハビリテーシ
ョン科¹
同 整形外科²
○田村太資¹・川端秀彦²・杉田 淳²
名倉温雄²6-2 先天性股関節脱臼靱血の整復術における求心位
の追求旭川荘療育・医療センター整形外科
○皆川 寛・赤澤啓史・青木 清
小田 浩6-3 靱血的整復を行った年長児先天性股関節脱臼の
3 例かがわ総合リハビリテーションセンター整形外科¹
高知県立療育福祉センター²
○高橋右彦¹・中塚洋一¹・木下 篤¹
三宮奈穂²6-4 OHT 法による歩行開始後に発見された先天性
股関節脱臼の治療経験宮崎県立こども療育センター整形外科¹
宮崎大学整形外科²
○川野彰裕¹・帖佐悦男²・柳園賜一郎¹
門内一郎¹・渡邊信二²6-5 FACT における補正手術とその危険因子 ～ 鈴
木分類と以前の治療歴 ～滋賀県立小児保健医療センター整形外科
○下園美紗子・吹上謙一・丸木 仁
原田有樹・尾木祐子・太田英吾
二見 徹パネルディスカッション 3 DDH2：1.0-3.0 歳の初回
治療 座長：赤澤啓史，西須 孝P3-1 初診時 1 歳以上 3 歳未満の先天股脱に対する
牽引療法の治療成績岐阜県立希望が丘学園整形外科
○齊藤 満・徳山 剛・岩佐一彦P3-2 1～2 歳代の DDH 未治療例に対する overhead
traction 法あいち小児保健医療総合センター整形外科¹
名古屋大学整形外科²
○金子浩史¹・岩田浩志¹・三島健一²
松下雅樹²・長谷川幸²・北村暁子^{1,2}
鬼頭浩史²・服部 義¹P3-3 1.0～3.0 歳の DDH に対する開排位持続牽引整
復法 (FACT)滋賀県立小児保健医療センター整形外科¹
水野記念病院小児整形外科²
○吹上謙一¹・二見 徹¹・太田英吾¹
尾木祐子¹・原田有樹¹・丸木 仁¹
下園美紗子¹・鈴木茂夫²P3-4 1 歳以降の DDH に対する牽引治療を併用した
徒手整復の治療成績福岡市立こども病院・感染症センター整形外科¹
佐賀整肢学園こども発達医療センター整形外科²
○中村幸之¹・和田晃房²・高村和幸¹

柳田晴久¹・山口 徹¹

**P3-5 歩行開始後の DDH に対する観血的整復術の
治療成績**

名古屋市立大学整形外科

○若林健二郎・和田郁雄・伊藤錦哉
服部一希・白井康裕・河命 守
大塚隆信

**P3-6 1～3 歳の初回治療 一広範囲展開法(田辺法)
単独の適応と成績—**

旭川荘療育・医療センター¹

岡山大学病院整形外科²

愛媛県立子ども療育センター³

○青木 清¹・赤澤啓史¹・皆川 寛¹
小田 澣¹・遠藤裕介²・香川洋平²
佐野敬介³

P3-7 1～3 歳児の DDH 初回治療の現状

心身障害児総合医療療育センター整肢療護園整形外科

○伊藤順一・君塚 葵・瀬下 崇
田中弘志・田邊 文・武井聖良
山本和華・坂口 亮

P3-8 歩行開始後に診断された DDH の治療成績

兵庫県立こども病院整形外科

○薩摩眞一・小林大介・衣笠真紀
蒲田悦子・武岡由樹